

会報

# かけはし

(題字 支部長 神山則幸)

令和3年11月1日  
第 58 号  
発行者  
神山則幸

## 今こそ、心の教育を

副支部長 南 勇



現在、コロナ感染症が世界中に蔓延し、収束の気配が見えない状況

の中で、子供達は先生や友達とのかわりも少なくなり、ストレスを多く抱え込んできている。その結果、いじめ・不登校が急増し、他人を思いやる心の余裕が以前にもまして失われてきている。

かつて、校長として勤めた中学校は五千年前、まだ関東地方が広く海におおわれていた時代、大宮台地の端にあつて、海の中につき出た島であった。その後、海が後退し、小高い丘となつて残り、そこに室町幕府の足利義満が川口市の名利として名高い、長徳寺を建立した。当時の敷地は東京ドーム六個分の広大な面積をもった寺で

あつた。中学校は、その敷地内に寺院と並んで建てられた。この長徳寺の第十三代管主、龍派禅珠は織田信長が本能寺で亡くなる六年前、日本最古の学校である足利学校に入学し、その後、長徳寺住職となり、以来五十五年間、八十八才で亡くなるまで、この地ですごした。この間、徳川家康の命により、足利学校の第十代校長を十九

## 困難に直面する学校を考える

藤・戸田班 加藤 正明

年間勤め、更に徳川家光の代には徳川家の蔵書整理として、江戸城内に富士見亭文庫を創設した人物である。この龍派禅珠の教育は、その著「寒松日曆」や「寒松稿」に記されているが、儒教の「仁」の心を説いたもので、即ち、学ぶこと、勉強すること以上に、他人を思いやる心を第一としたものであつた。つまり、自分を卑下することなく、他人を愛し、他の人を慈しみ、いたわることを最高の教育目標としたのである。このことは、コロナ禍の現在、いじめや不登校の急増など精神的に不安定になっている子供達の教育に、今こそ最も必要になってくるものではないだろうか。



ご苦労の連続であろう事は想像に難くない。私の現職時には考えられない事

コロナ禍で様々な教育計画が中止や制約を受ける中、学校現場では、

態である。私なら何をやるだろう、何が出来るだろうと思案する毎日である。私の孫達もリモート授業を受けているが普段の授業のような効果はまだまだあがっていないようであるが、PCを扱うことは楽しそうである。対面授業に勝るものは無いのかと考えてしまう。

その昔、授業が成り立たない時期があつたと思うとPCをはじめとする機器環境の進歩と児童・生徒の対応のはやさ、特にPC環境を支える教職員・教育委員会の対応には感激するばかりである。これは教師と児童・生徒を繋ぐ信頼があつて初めて成り立つことでは無いだろうか。共に信頼し合う関係が無ければ育てる・育つ環境は無いと考える。

私は生徒指導・清掃指導で教職生活を送ってきたと思つていて。その経験から児童・生徒が進んで学校をきれいにすることに気付き、教職員が十分に清掃指導が出来れば児童・生徒との信頼関係が出来、落ち着いた学校になる事を実感してきた。もう一つの大きな要因は「特別支援学級」のある学校では児童・生徒・教職員は気持ちが良いかつたと感じている。

現在学校は経験したことのない社会環境に置かれている。コロナ禍で十分な教育活動が出来ない中どのような場面・行動であっても学校現場を支持・支援したいと考えている。コロナ禍収束への先は見えないが体調を整え耐えていた、きたい。

# 会員短信

## 五輪に思う

蕨・戸田班 高橋 光

今夏、57年ぶりに東京オリンピックが開催された。57年前は確か高校生であった。思い出されるのは上空にブルーインパルスが飛んできて五輪を描くのを教室より皆で見たことである。当時はのんびりしたもので先生も授業を中断され一緒に見たものだった。競技は入手できた種目を駒沢オリンピック公園まで観戦に行った。

今回はコロナ禍で無観客となりテレビ三昧の毎日となった。柔道、レスリング等の活躍により大いに盛り上がったように思う。

## 快を

朝霞班 高野 章

退職して八年余。これまでの習性で、目標や意義などを考え活動しがちでした。最近、楽しく気持ちよく、生活することを大事にしています。読書もウォーキングも、楽しさを優先しています。人権擁護委員や町内会役員の活動も人生経験豊かな方々との楽しい時間や刺激を受ける機会です。また

放課後居場所づくり事業に週三日参加し、子どもたちや地域のスタッフと係わりながら、子どもも大人も皆が頑張っていることが、快い気持ちになります。

## 音楽の力

川口班 澤田 哲夫

体調を崩し、本年三月で「生活手段や生産手段を作り出す」という経済学上での「労働」から退きました。

そんな折、コロナ禍で一年延びていたシヨパン国際ピアノコンクールの予備予選を目にしました。通常80名程度が並ぶコンサートホールの舞台中央に置かれた一台のピアノ。それを唯一人で演奏し、聴く人に感動を与える姿に魅了されました。今は種々のリサイクルに足を運び、人を励まし勇気づける「音楽の力」を感じています。

## 盆栽と向き合う

川口班 宮口 利政

退職後の六年間。川口市教委での非常勤の勤務が続いた。やっとこの四月からフルタイムの自由な時間ができ、念願だった「盆栽」中心の生活を送れるようになった。

「盆栽に完成形はない」と言われる。樹は年々成長し、その樹姿を

変える。そのため「この樹を飾りたい」と思うと、枝抜きや針金かけ等の整姿を行う。さらに毎年芽摘み等を繰り返す。四、五年後によくやく思い描いた樹姿になる。そんな先を楽しみにしながら、日々地味な作業に追われている。

## コロナ禍の学校教育とは

草加班 石田 明男

退職して七年。母親の介護生活も段々と大変になっていく。

さて、今学校では新学期が始まり、先生方は忙しい毎日を過ごしている。時差登校やオンライン授業等を実施し生徒に学びを保証している。感染対策と学費格差を両立していかねばならない。子ども達の感染もデルタ株の影響で八月半ばの累計陽性者数は約十五万人に達している。このような状況では対面授業はやめて全てオンライン授業に出来ないものか。学校のデジタル化を望む。

## 無農薬有機栽培

川口班 加藤 裕

小豆がサヤを付け始め、窮屈になった防虫ネットを外す。その後、何故か次々としおれていく。茎を折ると白い芋虫。調べると「アズキノメイガ」。そんなマニアックな

「生きる力を育みともに学び未来を拓く  
蕨の教育」の具現化に向けて

蕨市教育委員会 教育長

松本 隆男



「コンパクトシティ蕨」では、このコロナ禍においても「生きる力を育み」とともに学び、未来を拓く蕨の教育の具現化に向けて、各校が工夫を凝らして特色ある学校づくりを進めています。

今年度、蕨市教育委員会では、『蕨愛、今よりも一歩前進』をスローガンに、様々な教育改革に取り組んでいます。今回はその一端を紹介させていただきます。

一 学校ICT環境の整備と教職員支援体制の構築  
蕨市では令和2年度、市立小中学校の全児童生徒に、PC端末を一人一台配備しました。また、ICT支援員の配置や、ICT活用指導力向上ワーキンググループ協議会の設立、市内全教職員に様々なICT支援に関する情報提供を行う教職員ポータルサイトの開設など、教職員のICT活用能力の育成に向けたきめ細かい支援を行っています。

二 A L T の全校配置及び G T E C の実施

虫も居るのか。あんこたつぷりの草もち作りは来年に。二枚縫い合わせで特大のネットを作る。

青虫・アブラムシ・カメムシ・バッタ・コガネムシ等々。敵は虫だけではない。アナグマ・シカ・キジに、日照り・長雨・霜……。

五十種の野菜を育てながら、自然との付き合い方を学んでいる。

SSS

朝霞班 平田 安弘

定年退職して8年目。「SSS」という言葉をご存じだろうか。スリーサイズのことではない。「スクール・サポート・スタッフ」の略称。コロナ禍で長い自粛生活。ぼけ防止も兼ねて、近隣の小学校でSSSの仕事 시작했다。SSSは教員の仕事を助ける補助的な役割。業務内容は主に事務的な仕事が多いが、多岐にわたる。教員の仕事の負担軽減にもつながっている。先生方から感謝の言葉をもらえる。と励みになり、「この仕事をやってよかったな。」とつくづく思う。

つなぐ

川口班 高橋 光代

ガイダンスカウンセラーの資格更新時期を迎え、書類を整えています。その中で、SNSカウンセ

リングの必要性を痛感しました。子どものコミュニケーション・ツールの変化に伴い、文部科学省や厚生労働省のSNS相談からも悩み相談が飛躍的に増加し、適切な相談機関へとつなぐ役割も担っていることが伺えます。

エビデンスに基づいたアセスメントの支援など、私自身も人とのつながりを大切にし、元気に過ごしていきたいと思っています。

現在私は、家族の暖かい理解を得て、新潟県小千谷市に畑付きの家を借りて滞在中です。年間三百日位は、こちらで単身で過ごし、野菜や花作りに励んでいます。その他に、棚田の手伝い、遺跡調査、地元の学校支援ボランティア、障害者支援センターの手伝いなどもやっています。

田舎暮らし満喫中

草加班 土橋 弘明

また、冬季は除雪で大変ですが、スキーやスノーシューで雪のある生活を楽しんでいます。まさに、今は人生の御褒美を頂いている思いです。

最近、一日一日があつという間

粛々と歩む

川口班 池内 淳一

で、月日が過ぎる速さを感じています。

川口市立教育研究所相談員として三年を迎えました。コロナ禍における、これまでと違った世の中の対応に、保護者も子供たちも、そして学校も、戸惑い悩んでいる様子をひしひしと感じています。

コロナ禍。悪いこともありすが、良いことも、新しい発見もあると前向きに考え、粛々と毎日歩んでいます。

退職後の過ごし方を考えていました。先輩方を見ると、多様な過ごし方を選択されており、私も目標を持ち第二の人生を有意義に過ごしていこうと決めました。

第二の人生、新たな挑戦

蕨・戸田班 山崎 厚

ある時、先輩校長が「私は資格試験に挑戦しています」と生き生きと話されているのを聞き、私も取り組んでみようと思えました。人との関わりは続けていきたいと思いい、教え子の勧めもあり不動産資格の取得を目指しました。昨年、一つの資格を取得し、地域貢献に活かしていきたいと思えます。



蕨市では、令和2年度の小学校の新学期指導要領全面実施に合わせ、市内市立全小・中学校にALTを一名ずつ配置しました。これにより、各校における外国語並びに外国語活動のきめ細かな指導を実施しています。また、令和3年度からは市立中学校2・3年生に対してGTETCを実施することとなりました。GTETCの活用により、生徒一人一人の英語の「聞く・読む・話す・書く」の4技能の定着状況を把握し、今後の本市における外国語教育の更なる充実を図っていきます。

三 教育センターの効果的な運用

蕨市教育センターでは、教育相談をはじめ、増加傾向にある外国人児童生徒等への初歩的な日本語指導等を行っています。また、令和2年度に、教育センター専用のPC端末や大型提示装置、無線LAN環境等を整備し、教職員のICT活用指導力向上研修をはじめ、さまざまな研修の充実を図っています。

この他にも、市独自の少人数学習級推進事業や、コミュニケーショングループ等、さまざまな取組を実施しておりますが、今後も「生きる力を育み、ともに学び、未来を拓く 蕨の教育」の具現化に向けて取り組んでまいります。



# 支部だより

## 臨時役員会開催

去る九月十日(金)第一回理事會に代わり、臨時役員會が開催され、左記の事項について協議、決定した

### 1、教育推進協議会紙上開催

コロナの感染状況が依然として厳しい状況のため、昨年度と同様紙上開催とする。

### 2、令和四年度県総会について

- ・期日 令和四年六月三日(金)
- ・会場 川口リリア音楽ホール
- ・要項 総会 講演会のみを実施
- ・実施委員会を組織し実施する

## 教育推進協議会提案者決まる

今年度も「現下教育の諸課題」をテーマに、次の方々から、各會を代表して、貴重な御提案がなされます

### ①【学校保健教育を核とした学校経営】

川口市立朝日東小学校  
熊谷 茂樹 校長

### ②【多様な生徒に多様な学びの場づくり】

〔GIGAスクール構想を活かして〕  
川口市立芝中学校

### ③【蕨市教育センターの現状と課題】

退職校長會・戸田班  
五十嵐 詩郎 元校長  
(和田 悦男)

## ご冥福をお祈りいたします

豊田 榮一様 (川口) 7/19 九十四歳  
永山 忠夫様 (川口) 8/8 九十一歳  
齋藤 利次様 (草加) 8/17 七十二歳

9/30現在

# 班だより

## 蕨・戸田班(和楽登会)

令和三年度は新會員対象者無し、會員七十九名で森山征夫會長のものと活動を展開しています。

総会は紙上開催となるなどコロナの影響を大きく受けております。

### ◎各種事業について

- 本年度の事業計画には、
- ・地域教育の推進協力
  - ・夏季懇親會
  - ・秋の散歩の會
  - ・和楽登會研修旅行(一泊二日)
  - ・新年懇親會
  - ・春の散歩の會(都内の名所・旧跡めぐり)
  - ・和楽登會ゴルフ(他班へも声掛け)等々。

コロナ終息への期待と願いを込めて計画したところですが會員の「健康」を第一に考え、中止が多くなつてしまい會員の皆様には申し訳なく思っているところです。

### ◎會員の近況報告集を發行

支部會報『かけはし』が會員間の絆になつていることに学び『令和2年度和楽登會 會員の近況報告集』を發行しました。一部紹介します。なお本年度も実施します。

☆九十歳を超えました。でも、未だに健康で暮らしています。

☆感染者の増減に一喜一憂するよりウィズ・コロナ。新しい生活様式を不自由と思わず前向きに取り

組む。残りの人生を楽しもう。

☆六月に学校開始。新しい日常に慣れない子ども。スピードアップの授業等で不登校。その子達の居場所づくりに取り組んでいます。

皆様にお会いできる日が楽しみです。(文責 前田 一男)

## 草加班

本年度総會はコロナ禍のため、會員の命と健康を守ることを第一と考え、会則に従つて役員會を總會にかえ、紙面で會員からの意見を聞くことになりました。



全會員のご協力を得て、新會員四名を迎え、會員百一名で本年度スタートとなりました。

今後も草加市教育振興の寄与と共に、會員の親睦と健康維持増進を図つて参ります。

### ◎役員改選

(退)前會長加藤慶隆・(新)會長関口憲二、(新)副會長高木宏幸・(留)佐藤高次・(留)平野惠美子、(留)事務局長片岡敬一、(新)幹事若林茂次・(新)浅野勝男、(留)監事金野和昭・(留)田中純子(敬称略)

### ◎教育支援の継続

▼第三次教育振興基本計画の推進 會員の豊富な教育経験を活かした児童・生徒の学力向上へ支援の

協力の継続。

▼草加寺子屋事業(土曜学習)への学習支援継続 小学校二十一校、年間十三回。

▼放課後児童クラブ事業等に協力。

◎主な活動(コロナウイルス感染拡大の状況次第で変更・中止有)

- ①役員會(四月二日、九月二十三日)
- ②クラブ活動 ゴルフ開催・大会等へ参加。読書會・儒學者・教育者・佐藤一斎「言志四録」勉強會
- ③行政への要望書の提出
- ④忘年会(三年十二月四日)
- ⑤現職・退職校長研究協議會(四年二月二十五日)

(文責 片岡 敬一)

## あとがき

北足立南部支部會報「かけはし」第五十八号をお届けします。

新型コロナウイルス変異株の感染防止のため、外出や會合を控えることが多くなりました。會員相互の絆ともいふべき會報「かけはし」は、これまで以上の使命を果たすべきと考え、編集委員一同全力を尽くしております。

ご多用中、玉稿を賜りました各位に衷心から御礼申し上げます。

大河ドラマ「青天を衝け」も佳境に入つてまいりました。十一日は渋沢翁の命日です。(羽富 正晃)